

実施状況報告

事業名	附属中学校と附属特別支援学校の交流及び共同学習
実施主体名	愛媛大学教育学部附属中学校・附属特別支援学校
日時	平成24年10月26日(金)、11月8日(木)、11月20日(火) 8:50～12:40
場所	愛媛大学附属特別支援学校 中学部教室 日常生活訓練施設「みかんの家」
参加者	附属中学校生徒、特別支援学校中学部生徒、教員(約40名)
第1回目は、1年生と2年生の2クラスに分かれて活動をしました。各クラスで、特別支援学校の生徒がこれまでの学習の成果を生かして、「あじさいの苗の植え替え」や「手すき紙を使ってコースター作り」の方法を紹介した後、一緒に活動をしました。初めは、緊張気味の附属中学生でしたが、徐々に打ち解け、休み時間にはみんなで長縄をして遊ぶようになりました。 第2回目は1年生、2年生、3年生の3クラスに分かれて活動をしました。前々日に附属特別支援学校の農園で収穫したサツマイモを使って、サツマイモホットケーキ、スイートポテト、ふかし芋と一緒に作って食べました。特別支援学校の生徒の調理の手際よさに感心しながら一緒に調理を行いました。 第3回目は全員で、特別支援学校の日常生活訓練施設「みかんの家」に行き、野菜の収穫をした後、焼き芋をしました。焼き芋を初めて体験する附属中学生は、興味津々で活動していました。 3日間という短い期間でしたが、特別支援学校の生徒は、同年代の仲間と共に活動することで、意欲をもって主体的に活動することができました。また、附属中学生にとっても、共に活動する中で附属特別支援学校の生徒のよさに気付き、同じ仲間の一人として一緒に活動することができました。	

